

的な産業別は力に於て貧弱である。
組合同盟内部に於ては

吾が合同労働組合は未だ其の教に於て未だ微々たるものがある。随つて産業別整理は無意味なる事であり産業別への一歩の躍進は実質上一歩の退却である例へば組合同盟内には金屬産業労働組合等々如き産業別組合がらるる合同労働組合の中にも或は金屬に或は紡織に整理さるべき支部があるけれども之を整理する事は現下の状況に於ては不利である。

又地方的の場合に於ては同一組織内の産業別組合ありしと云へども組合員數少くは時々の地方的に合同すべきだ。

五戦線の統一と指導精神の闘争に對する態度

組合の組織状態の低下と議論に於ける敗退は資本の攻勢に直面して大家をして戦線統一の爲に起たせざるは必然である最近日本農民組合全日本農民組合との合同を見更に労働組合の統一無産政党的統一の要望が高まつて居る統一戦線への途上に於て吾等の目に衝動を與へたるものは労働農民党日本労働組合評議会無産青年同盟の解散である之等は何れを敵へたる露骨なる支配階級の反動と其の権力下に於ける階級戦線統一に對する個々の團體の態度の變動である即ち右翼と称せらるる、総同盟一派は更に大右翼結成に努力し毫も統一の氣分

命揮て下級散された評議会一派は合同統一の即時実施をほつて居る而して左から右迄の途程に於ては問題は自覚自覚の直向擁護の爲に転回されて来た隨つて吾々の戦線統一の實現の困難なる事を充分に認識して居る極左翼と稱せらるる團體内には勿論總同盟一派の内部に於ては動向一貫して現存微々たるも矛盾を内包したるものもある吾等は漸進的組合組織の維持を第一の目的を恒久化せんとする行爲と徹底的に戦ふ事を其の戰局的統一の實現の前提とする事と決心す極左翼と稱せらるる評議会一派との合同の促進に於ては労働組合の統一を破壊してはならない吾が組合は飽く迄階級的立場を嚴守し經濟的階級政治的層面に對抗する事によつて吾が無産階級運動の指導方針を確立すべきだ。

結 論

関東合同労働組合以上の如き認識に基き最も勇敢なる闘争を續けて来た又續けつゝ、戦局的統一組合である合同労働組合の貴き歴史は此の趣向に従ひ又此の教旨によつて進むべき指導精神はもとより奮闘的の状況に應じて伸縮するものであるが一夜にして手、足を離すか如き浮動的なものではなからざるべき此の指導精神を生かす爲には如何なる過激心何れも堅直法をもちし之を打破すべき堅實なる精神がなくては存するに在り飽く迄進歩的である。

お、合同労働者よ 戦局的統一組合たる関東合同の旗下に集れよ。